政府職員を全員AIエンジニアへ：ガバメントAI「源内（げんない）」が変える行政の未来

導入の背景と「源内」の革新性

深刻な人手不足と膨大な業務量への対策

人口減少下で公共サービスを維持するため、資料収集や分析、許認可審査の効率化が急務となっています。

行政実務に特化した20種類以上のAIアプリ

法制度調査や国会答弁検索など、行政特有の業務に最適化されたツールがパッケージ化されています。

全職員を「AIエンジニア」へ

既存のアプリを使うだけでなく、現場の職員が自らの課題に合わせてAIアプリを目作でできる環境を提供します。

社会実装へのロードマップと現場の活用

2025年12月

活用方計の決定:

高市総建による「源内」徹底活用の指示

2026年1月

他府省庁への展開開始:

国土交通省など一部府省庁での利用開始

2026年5月までに10万人規模の活用へ

政府職員10万人以上が活用可能的職員金体へと規術的にアカウントを拡大します。

2026年5月

2026年5月までに10万人規模の活用へ

政府職員10万人以上が活用可能な体制へ

政府職員全体へと段階的にアカウントを拡大します。

国土交通省での先行活用事例

国土交通省での先行活用事例

統計データの相関分析やタスクの優先順位付けなど、実際の業務判断にAIが活用され始めています。